

いずみさの教育

NOW

問合先
学校教育課

大麻等薬物乱用防止教育

大阪府における令和5年の大麻事犯の検挙者数は775人となり、過去最多となっています。特に10代の検挙者数が199人となっており、平成30年から約2倍の数となっています。

このように、近年、大麻乱用の低年齢化が顕著になっており、深刻な問題となつていきます。「乱用」とは、薬物を不正な目的や方法で使うことで1回でも乱用といえます。

大麻の蔓延の背景にはSNSなどを通じて比較的容易に入手できてしまうこと、他の違法薬物と比べて安価であることに加え、インターネット上で「大麻は安全」といった誤った情報が拡散されていることなどにあると言われています。

しかし、大麻は脳の知的機能や記憶の形成をつかさどる部位(海馬など)に作用し学習能力の低下や精神障害を発症しやすくなるなど、間違いない心身に悪影響を及ぼす危険な違法薬物です。

市では各小・中学校において、保健体育の授業でもちろんのこと、警察や医師、少年サポートセンターなどと連携しながら、薬物乱用教育を実施し、特に次の3点について、指導しています。

- 正しい知識をもつ
 - 大麻は脳に作用し、心身に有害であること
 - 大麻は違法薬物であり、所持しているだけでも厳しく罰せられること
 - きっぱり断る強い意志をもつ
 - 友だちや先輩から乱用を誘われても、きっぱりと断る強い意志をもつこと
 - 相談する勇氣をもつ
 - ひとりでも問題を抱えこまず、勇氣をもつて信頼できる大人や専門の相談窓口相談すること
 - 大麻等薬物乱用は大切な自分自身や将来の夢を台無しにし、家族や友だちを悲しませることにつながるります。家庭や市民のみなさんにもご理解ご協力をお願いいたします。
- 専門の相談窓口**
- 大阪府こころの健康総合センター
 - ・依存症専門相談
(☎06・6691・2818)
 - ・こころの電話相談
(☎06・6607・8814)
 - 少年相談(グリーンライン)
(大阪府警察本部少年育成室内)
(☎06・6944・7867)
 - 岸和田少年サポートセンター
(☎423・2486)

学校園紹介

笑顔あふれる学校 ～上之郷小学校～

上之郷小学校では最近、5・6年生委員会によって児童玄関壁面掲示板に「ふわふわことばの木」が植樹されました。お互いに気持ちのよいことばを使いながら友だちとつながり、楽しく、そして心温まる学校をみんなでつくっていきましょうという想いからです。



ふわふわことばの木には、子どもたちが書いた「ありがとう」「いつもがんばってるね」「すごいね」「大好き」「いいね!」などのことばの花が咲いています。また、「1日7回以上ふわふわことばを言うことができれば帰りにシールをはる」という活動をしており、子どもたち全員で木の下にある新たな芽を生き生きとした緑色に



大切に育てていこうとしています。

さらに、今年度から上之郷小学校に加わった新キャラクター「カミノゾウ」も先生たちと一緒に子どもたちを応援しています。

「これからも引き続き、がんばるゾウ!!」



地域の人たちに支えられて ～長南小学校～

本校で系統的に取り組んでいる「地域学習」について、5年生の学習を2つ紹介します。



まずは、田植えと稲刈り体験です。初夏の田んぼに稲の苗を植え、秋に実ると収穫します。実際の体験はとても貴重な機会である上に、収穫したての新米を分けてもらい学校で試食します。放っておいて実るわけ

ではないことを学び、作物が食物として私たちを育ててくれていることに気付くといいなと思います。

もう一つは、地域の伝統芸能を学ぶ体験です。校区には「佐野くどき」と「さんやおどり」の2種類の盆踊りがあり、いずれも重要な歴史と意味のある文化です。ぜひ児童にも理解して



身に付けてもらいたいと代々長南小学校で取り組んでいる学びです。それぞれ本物の楽器や道具を借り、教えてもらいます。これまで継承してきた人たちの温かい



気持ちとともにそのバトンを受け取り、次に渡す「地域の人」になってほしいと思います。